

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和元年度)

施設 の 名 称	御崎野営場
指 定 管 理 者 の 名 称	唐桑町観光協会
施 設 所 管 部 課 (室)	経済商工観光部観光課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成23年4月 ~ 平成26年3月	指定管理者	北日本ビル清掃株式会社	
平成26年4月 ~ 平成29年3月	指定管理者	北日本ビル清掃株式会社	
平成29年4月 ~ 令和4年3月	指定管理者	唐桑町観光協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	唐桑町観光協会
	所在地	気仙沼市唐桑町崎浜4番地3
指 定 期 間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	御崎野営場	
所 在 地	気仙沼市唐桑町崎浜地内	
設 置 年 月	昭和48年7月	
根 拠 条 例 等	野営場条例	
設 置 目 的	県民が野外活動を通じて、自然に親しみ、心身の健康の増進に寄与することを目的とする。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	約7,000㎡ (市有地)
	構 造	
	内 容	管理棟、共同炊事場、サニタリー棟、コンセルリンク等
開 館 (所) 日	通年	
開 館 (所) 時 間	受付時間8:00~21:00	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	<input type="checkbox"/> 野営場施設の管理運営、維持管理 <input type="checkbox"/> 施設の使用許可申請の受付及び許可並びに使用料の徴収業務 <input type="checkbox"/> 機械設備の操作・日常点検業務 <input type="checkbox"/> 施設の亡失等の届出受理業務及び報告業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前 年 度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
開館(所)日数	366 日	365 日	366 日	100.0%	100.3%
延べ利用者数	756 人	756 人	1,443 人	190.9%	190.9%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前 年 度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
野営場	756 人	756 人	1,443 人	190.9%	190.9%
	人	人	人	-	-
	人	人	人	-	-
	人	人	人	-	-
	人	人	人	-	-
合 計	756 人	756 人	1,443 人	190.9%	190.9%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前 年 度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
県指定管理料	2,150	2,150	2,170	100.9%	100.9%
利用料金収入				-	-
その他				-	-
収入計 (a)	2,150	2,150	2,170	100.9%	100.9%

(2) 支出

人件費	1,138	1,175	1,302	114.4%	110.8%
施設管理費	812	746	818	100.7%	109.7%
事業運営費	200	132	139	69.5%	105.3%
その他			150	-	-
支出計 (b)	2,150	2,053	2,409	112.0%	117.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	97	-239	-	-246.4%
前期繰越収支差額	304	207	304	100.0%	146.9%
次期繰越収支差額	304	304	65	21.4%	21.4%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(令和元年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
				評価		評価
①管理運営体制	指定管理者基本協定に基づき、施設を常に清潔かつ安全に保つとともに、施設の目的に沿って安定した管理運営に努めるため、職員及び管理人間の情報共有を図った他、使用料の適切な処理を行うため、複数人でのチェックを行った。		施設の利用者は、H30年度から90.9%増加した。利用者からの苦情やトラブルもなく、円滑な施設管理を行えた。		A	毎月の使用料徴収状況報告について適切に報告されているほか、宮城オルレやみちのく潮風トレイルの開通に伴い、利用者数が大幅に増となったが苦情やトラブルもなく、安定した管理運営体制で業務を行っている。
人員体制	正規 1人	非正規 3人				
②施設・設備の維持管理業務の実施	年間の管理計画を策定し、計画どおり実施した。		月毎の管理計画に基づき、管理棟・シャワー棟・トイレ棟の定期清掃、浄化槽の点検、除草作業を実施した。		A	定期的な施設清掃や設備点検及び除草を行うことにより、安全かつ快適なサービス提供を行っている。
③運営業務(ソフト事業等)の実施	地元新聞等への広告掲載を行った。		限られた委託費の中で、地元新聞広告(年2回)と、気仙沼市が発行する「気仙沼ガイドマップ2019」への掲載を行い、利用者の確保に努めた。		A	限られた委託費のなかで、地元自治体や観光関係団体等とも連携を図り、利用者の確保につなげている。
④自主事業の実施	特になし					
⑤利用者サービスの向上	4月から9月までの繁忙期には、現地管理人との連携を密にし、利用者が快適に過ごしていただけるよう、集中的に除草作業を行い環境サービスに努め満足度向上を図った。		年に20日間の除草作業を実施し利用者のサービスに努めた。また、管理人には、年度当初と各月毎に接客態度の向上と利用者本位のサービスを行うよう指導している。		A	業務員への指導教育も行うなど、利用者側に立った対応を行った結果、苦情やトラブルも特段無く、サービス提供に努めている。
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	特に苦情等はないが、施設設備については、他のキャンプ場と比較した場合、古さは否めない状況にある。特に、トイレが和式のみのためビジターセンター(洋式)のトイレを借用することがある。		H9年頃の大規模リニューアルから22年が経過し、施設設備(トイレ・水道設備・看板)の老朽化が目立ち始めていることから、今後は、計画的な修繕計画が必要になってきている。特に、インバウンド対応としてトイレの洋式化と看板の多言語化が急務である。		A	県の財政状況から、施設の大規模な再整備などは困難な状況にあるものの、清潔で快適な施設管理に努め、県への状況報告なども適切に行われている。
⑦安全対策	野営場自体に危険な箇所はないが、松の大木に囲まれた場所であり、強風後の見廻り(枝枯れ・倒木等)を実施している。なお、近年松喰い虫による松の枯れ木が多くあり枝折れ等に特に注意している。		随時、利用者に対し注意を促すとともに、管理者として万全の注意を払っている。特に、事故やトラブル等は発生していないが、利用者の安全確保の観点から、倒木等の恐れのある松については早期の伐採をお願いしたい。		A	見回り監視も適時行われており、事故等は発生しておらず、安全対策について考慮されている。
⑧県民の平等利用	県民が誰でも快適に利用できる施設として、平等利用に努めている。		誰でも気軽に利用できるように適切な対応を心がけている。		A	他施設の管理運営ノウハウもあり、適切な対応を行っている。

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報保護条例に基づき、個人の権利利益を侵害することがないように適切に事務処理を行っている。	条例及び基本協定書に基づき、個人情報の取り扱いに十分に注意し、適切な管理運営を行った。	A	協定書等に基づき、個人情報の処理については、十分な注意が払われている。	A
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり	令和元年度は、宮城オルレ気仙沼・唐桑コースやみちのく潮風トレイルの開通に伴って前年度比90.9%(687名)の増となった。県内493名・県外931名・海外19名の合計1,443名の利用者であった。	A	左記の状況により、大幅な利用者増となっている。トレッキングコンテンツとの融合などにより更なる利用者増を期待している。	A
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり	適切な経費管理をおこない、収支均衡に努めた。なお、使用料については期限内納入に努めた。年々利用者が増えて、管理経費が増加することから指定管理料の増額が必要になってくるものと思われる。	A	適切な経費管理を行い、経費節減に努めながら、委託費の適切な執行を行い、収支均衡を意識した堅実な運営が行われている。また、使用料についても、期限内に確実に納付されている。	A
⑫その他の取組	地元中学生による御崎野営場のパンフレット作製	地元中学生(唐桑中学3年生)が野営場の利用促進のため現地を調査し御崎野営場のパンフレットを作成した。	A	地元中学生が社会勉強の一環として野営場を訪れるなど、教育の場としても活用されるよう地元の声をよく聴き、開かれた施設運営が行われている。	A
総合評価		特に事故やトラブル等もなく、利用者へのサービス向上に努めることができた。概ね適切に管理運営できたものと思われる。令和元年度も利用者の増が図られたが、今後も、なお一層、利用者の増に努めていきたい。	A	利用者数及び使用料収入も、前年度実績から大幅に増加している。事故やトラブル・苦情等もなく、安全かつ効果的に管理運営が行われている。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	老朽化が進む施設設備について、今後どのような修繕(再整備)を行うか、特にトイレの洋式化・水道設備と看板の修繕が望まれる。また、御崎野営場は傾斜の多い施設のため TENT を張る場所が限られていることから、その整備が必要である。松喰い虫の被害による倒木等の恐れのある松の早期の伐採撤去。	御崎野営場については、観光客だけでなく、地元の幼稚園や学校も利用することから、地域にとって必要な施設である。運営に当たっては、地元自治体へ施設移管するなどし、周辺観光エリア一帯を一体的に運営していく方が、効果的かつ効率的であると考える。財政状況等を見極めながら、利用者の利便性向上のための設備改修及び安全確保整備を行っていく必要がある。